

福井県社保協 F A X 通信

2020年度 第4号 8月13日

発行責任者
福井県社会保障推進協議会
事務局長 佐々木 紀明

<http://fkshk.web.fc2.com/>

新型コロナウイルスの影響を大きく受ける医療機関・介護事業所に行政の支援を

新型コロナウイルス感染症の広がりによって、医療機関は感染対策に奔走しています。そして、介護事業所は、感染に怯えながら介護を提供しています。この間、医療機関では患者さんが感染を恐れ、受診を控えたことによる患者数の大幅減少、加えて、コロナ患者の受け入れベッドを空けておく、さらに医師や看護師の特別の体制、一般診療、入院患者数の縮小、さらに手術や健康診断のキャンセルや先延ばしによって収入が大きく減少し、経営が悪化しています。これは、医療機関や介護事業所にとって事業の継続を困難にする大問題です。そして、早急に改善が図られなければ、地域の医療と介護を崩壊させかねません。すでに、7月には岡山県で個人医院が新型コロナウイルスによる患者数の減少と、感染防止への対応によって倒産したことが報じられました。また、日本医療労働組合連合会の調査によれば、3割の医療機関で夏季賞与が前年よりも減少しています。賞与の支給見送りによって、400人の看護師が退職希望を明らかにした東京女子医大病院の出来事は全国の医療関係者、患者さんにご家族を驚かせました。

県内102の医療機関、介護事業所から緊急要請書と切実な声

福井県社保協は、コロナ禍における医療機関・医療体制を守るため、国からの助成を求める「緊急要請書」（要請書）を集約する運動にとりくみ、これまでに102事業所から要請書が集約されました。そこで、福井県社保協は集約された要請書を厚労省に届けるだけでなく、要請書と同時に寄せられた切実な声を紹介するために、8月4日に県政記者クラブ（県庁）で記者会見をおこないました。会見の翌日には福井新聞と日刊県民福井がそれぞれ、医療機関と介護事業所の困難な状況、また、国に援助を求める切実な声が寄せられていることなどの記事を掲載しました。



29事業所の「私たちのひとこと」

102の事業所から寄せられた要請書のうち、記載されていた29の「わたしたちの一言」を紹介します。中には「助けてください」「困っています」など急を要する切実な声も。新型コロナウイルスの感染が再び拡大している今日、医療機関・介護事業所への助成は待ったなしです。

1. 医療・介護崩壊を防ぐ
2. 安心して医療を給付できるように支援を願います。
3. 素早い判断と行動をお願いします。
4. 今後、第2波、第3波も予測され、医師、NSの体制の確保に金銭的援助が必要である。また、感染防御の資材にも多くの費用を要しており、今後も充実のため必要と考える。
5. 助けて下さい。
6. 弊社は昨年事業拡大をしており、徐々に利用者が増え、銀行借入金返済（元金）がようやくできるレベルまで成長してきました。しかしそのタイミングで新型コロナウイルス感染症による収益減があり、給与を十分に支払う事や借入金の返済にも影響が出ています。更には支援を受けるにも前年度との比較を基準に設定されている為、事業拡大当初と比較されても非常に困るところであり、現時点ではどの支援策も受けることが出来ません。こういった事業所もあるという事も知って頂き、何かしらの支援策や対処法を講じて頂きたいと思っております。
7. よろしくをお願いします。私達職員一同、感染対策に励みながら頑張っています。
8. 早く治療薬、ワクチンが開発されますように！
9. 我々の声が届くようにお願い致します。
10. 宜しくお願い致します。
11. 最前線で頑張っている医療機関や介護事業所及びその職員の生活を守るため公費を導入してください。
12. 介護事業所は地域に密着した中小企業も多く、減収に関しては迅速な支援が必要に思っています。
13. 福井県敦賀市で介護事業所を運営している事業所ですが、敦賀市は感染者が幸いにも出ていないので助かっていますが、県庁所在地の福井市他近辺の市町村ではかなり利用者が減っています。どうかよろしく公的資金の導入を求めます。
14. 事業所の自助努力だけでは、「新しい生活様式」の継続は、非常に困難です。
15. 利用者様、ご家族様の負担増ではなく、公的資金での補償を！！軍事費ではなく、医療・介護への予算を大幅UPして下さい！！
16. コロナ感染が施設内で起こった場合、多くの被害が出るのが明らかな私たちのような介護施設では、細心の注意を払いながら日々の業務を行っています。その中でやむを得ず収益を減らしてでも継続して運営している状況です。介護崩壊が起こる前に一刻も早く必要な手立てをお願いいたします。
17. 新型コロナ感染対策の最前線で日夜奮闘されている他科の医療福祉関係の皆様には心からの感謝を申し上げます。どうぞご自愛下さいますように、祈って居ります。
18. 困ってます！
19. 医療・福祉の崩壊を阻止し、安定した生活が確保出来るよう要請します。
20. 医療・福祉の崩壊を阻止し、安定した生活が確保出来るよう要請します。
21. 少ないスタッフ数で感染予防に取り組んでいます。認知症や重度の利用の方はマスク着用や消毒、体調チェックだけでも今まで以上の体力と時間が必要です。消毒薬やマスクも、また足りなくなるのでは・・・と不安です。
22. 感染拡大防止に努め、感染におびえながらの利用者対応、感染者が出てしまった施設の大変さを理解しますが、年中おびえて感染拡大防止に努めて、勤務する職員も同等の保障を求めます。
23. 介護職員というより、入所者や利用者が施設を使いやすく利用しやすくなるような政策を期待したい。
24. 安心してかかれる医療機関を守るため財政支援をお願いします。
25. 新型コロナ感染予防には人的、物的に多くのものがさかれ、予防に気を配るほどに病院の収益は減少していきます。コロナ収束後には医療体制がボロボロになってしまう

のではないかと危惧しております。

26. 是非ともお願いいたします。
27. 今後第2波が予想される中、地域の医療・介護事業所が崩壊しないよう、上記の要請事項の迅速な対応をお願いします。特に収益減の補填には、概算払いではなく、診療報酬・介護報酬上乘せの公的資金導入をお願いいたします。
28. 医療崩壊を防ぐ為に、国の対策をお願いします。
29. 歯科でも受診控えが起こっている現状です。苦しい中、働き続けている現場スタッフの為に導入を求めます。

新型コロナウイルスの影響で収入が減少したら

福井市では新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した場合の市民税や水道料金の支払いに関する相談窓口を設置しています。また、国保の国保税（料）と窓口負担金の減免も対象になる可能性があります。該当しそうな関係者がいましたらご案内ください。また、福井市以外の自治体でも同様の対応が見込まれますのでご確認ください。

※福井市のホームページ

<http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/iryoku/kensen/p021748.html>